

第10回長崎都市経営戦略推進会議開催 ～長崎都市経営戦略推進会議～

長崎の産学官7団体で地域経済活性化を目指す長崎サミットは、昨年7月に丸10年を迎えることを踏まえ「次世代プロジェクト検討委員会」がまとめた答申をもとに、新たなフェーズでの活動となっています。

答申のなかでは、産学官連携により地域経済活性化に取り組む長崎都市経営戦略推進会議は、重点的に取り組む分野について、長崎の地域経済活性化の鍵と考えられる「横断的活動分野」を設定したうえで、必要かつ時流に合った具体的なテーマを定め、関連する産業分野に横串を通したプロジェクトを企画・実行する仕組みとすることがうたわれています。

<横断的活動分野>

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ■ 行きたくなる、住みたくなるまちづくり | ■ 地域の産業を担う人材育成・確保 |
| ■ 長崎を知っていただくブランディング | ■ 長崎をさらに発展させる産業振興 |

また、時代の変化に対応しながらチャレンジ精神とスピード感を持って事業を推進し具体化することや若手が力を発揮できる環境づくり、様々な取組み内容およびその結果情報等の若者や域外への発信力の強化が必要であることなども答申されています。

これを受けて、新体制による長崎都市経営戦略推進会議は昨年9月に第1回を開催。2021年8月20日（金）には第10回を、小川議長、下田副議長および経済界の委員6名、ならびに長崎県、長崎市、九州経済連合会のオブザーバー参加者12名の出席によりオンラインで開催しました。

新体制による1年目の活動はコロナ禍の影響により想定通り進まなかったこともありましたが、特徴的な内容として以下の3点が報告されました。

- ① オープンイノベーションの手法を取り入れながら支援する組織であるNAIGAICREWとの連携を図りつつ、答申に記載されている「若手が力を発揮し、時代の変化に対応しチャレンジ精神とスピード感を持って事業を推進する仕組み」づくりを進めていること
- ② 様々な事業を支援する仕組みとしてクラウドファンディングの活用を促進するために、活用例をお示しするテストケースに取り組んでいること

- ③ 課題である情報発信力の強化のため、今後インターネットを更に活用するためホームページのリニューアルと長崎サミットプロジェクト紹介動画を制作中であること

これらの報告に対し、「オープンイノベーションを推進するためにも、外に向けて情報発信することは非常に大事であるので、現在のスローガン『みんなでつくろう元気な長崎』よりも、長崎以外からも共感を集め、オープンイノベーションを広く円滑に共有できるものにすべき」といった意見が出されましたので、この件は早速対応することとしました。

最後に、第23回サミットについて、11月4日にオープン直後の「出島メッセ長崎」コンベンションホールで開催することを確認しました。また、事務局よりテーマ(案)等について提案があり、委員からは、「オープンイノベーション宣言後の取組状況の報告が必要」、「エポックメイキングとなる大きなイベントが控える中、具体的活動等についての発言が必要」、「若手の積極的な参画が必要」、「サミットでの発言が、県外に向けてのメッセージとなるように」等の意見が出されました。今後、サミット開催までに、長崎都市経営戦略推進会議を複数回開催し詳細を詰めていくことを確認しました。

長崎都市経営戦略推進会議では、前回の長崎サミットで確認されたオープンイノベーション宣言を具現化するため、産学官連携の基盤を強化しつつ、地域課題解決、地域経済活性化という目標に向けて、「内外連携の支援・コーディネーション、案件推進の支援」等に取り組んでまいります。

次の5年間で目指すこと

(1) 経済活性化につながる具体的な取り組みの加速

～ Time for talk is over. Now arrives the hour of action.

(2) 外部連携の輪を広げ、長崎をオープンイノベーションの拠点に

～ 新たな視点やネットワークが、案件推進や新しい取り組みの着想につながり、さらに外部連携の輪が広がる好循環に。

～ 新幹線開通や駅周辺再開発等もレバレッジに。

(3) “長崎がおもしろい”を広げる

～ “おもしろい”を起こし、伝える、長崎サミットの役割は大きい。